

なるほど

ぶつじ 仏事

第4回

報
恩
講



浄土真宗本願寺派備後教区
教区事業推進委員会

ほうおんこう 報恩講



報恩講とは親鸞聖人のご法事です。親鸞聖人がお亡くなりになった後、ご命日(1月16日)に聖人のお徳をしのんで、お念佛をよろこぶ門徒たちの集まりが行われるようになりました。この集まりを「講」といい、聖人のご恩に報い、お念佛のありがたさを味あわせていただくことから「報恩講」といいます。

家族みんなでお参りしよう

ほんざん 本山(西本願寺)ではごしょうきほうおんこう 御正忌報恩講(1月9日~16日)が勤まります。それに先立ち、ご門徒の家庭やお寺で報恩講をお勤めします。浄土真宗では一番大切なご法要です。家族みんなでお参りしましょう。

家庭の報恩講

お寺の報恩講



本願寺の御正忌報恩講



1月9日~16日

報



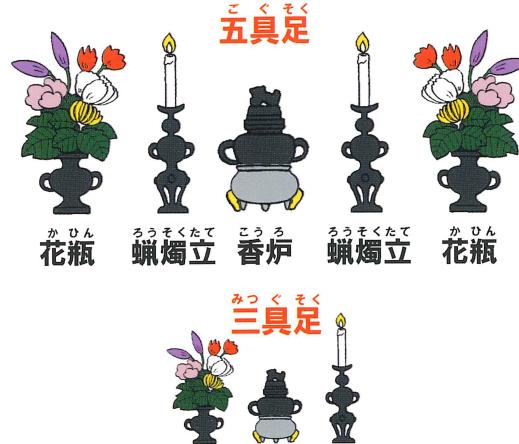
恩



講



五具足で!

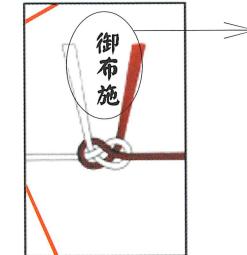


普段は三具足(向かって右から蠟燭立て・香炉・花瓶)ですが、報恩講・ご法事等のときはできれば五具足を用いましょう。

お餅を中心に!



赤白で!



- 御布施
- 御仮前
- 御供
- ✗御靈前
- ✗お経料
- ✗回向料

お仮壇の大きさはいろいろですが、打敷をかけ、御仮飯とお供え物をしましょう。

本来、水引の有無や色にはこだわりません。しかし、報恩講は、私が仏法を聞かせて頂き、お念佛に出遭えた人生を慶ばせて頂くお勤めですから、むしろ祝儀用の袋を使用すべきであります。